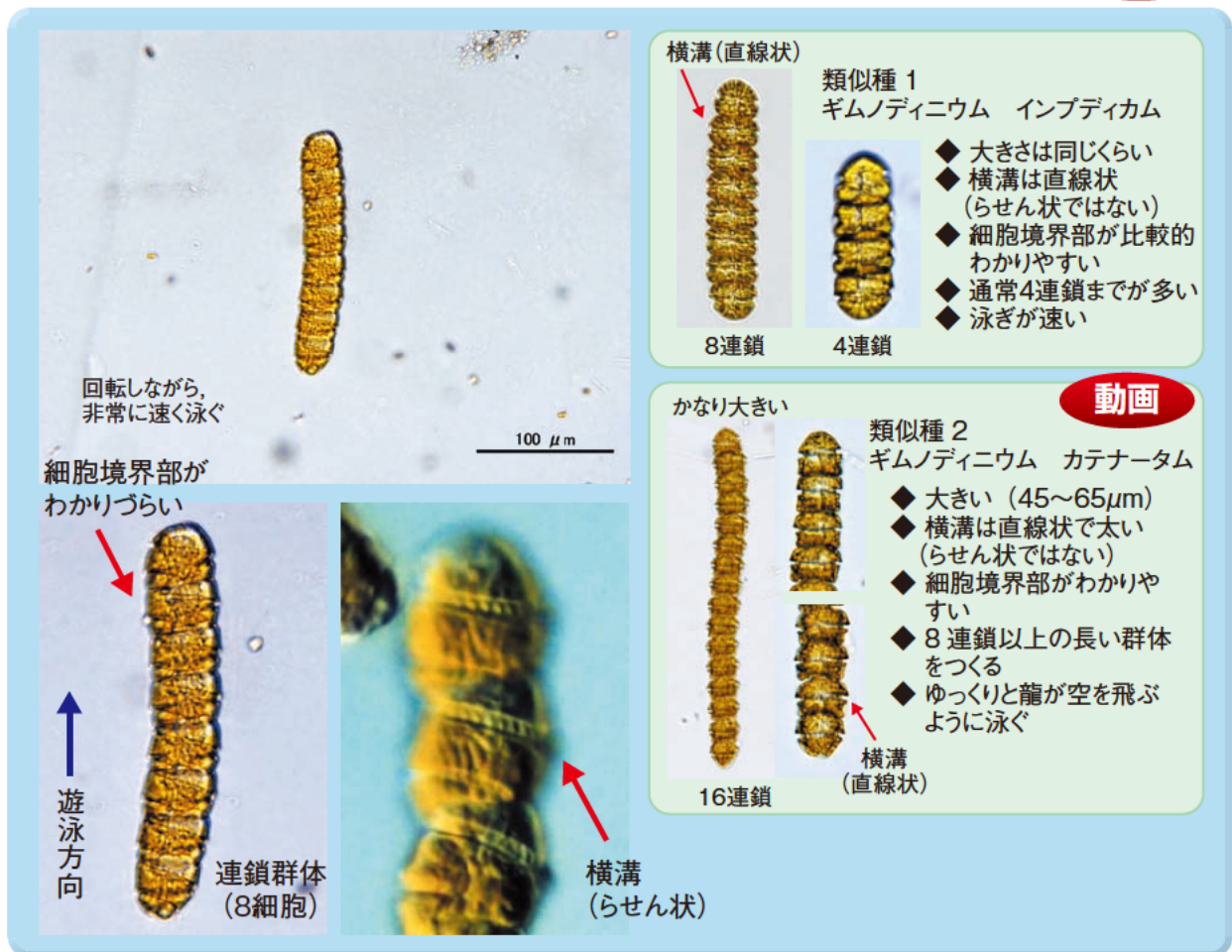


# コクロディニウム ポリクリコイデス(渦鞭毛藻)

(*Cochlodinium polykrikoides*)

動画



**大きさ** 長さ30~40 $\mu\text{m}$ 、幅20~30 $\mu\text{m}$

**形態** 色は黄褐色。単体(1細胞)で発生することは少なく、2~8細胞がつながった連鎖群体(れんさぐんたい)をつくることが多い。横溝はらせん状で、細胞どうしの境界部はわかりづらい。

**動き** 回転しながら、非常に速く、直線的に泳ぐ。

**漁業への影響**：数百細胞/mlを超えると魚介類のへい死を引き起こす危険性がある。魚類の他、巻貝(アワビ、サザエなど)、甲殻類(カニなど)、軟体動物(タコなど)、ウニ類などもへい死させる。二枚貝のへい死事例は報告されていないが、赤潮海水に実験的にマガキを入れたところ、ろ水量が低下したとの情報がある。

**漁業被害**：昭和61年、62年に五ヶ所湾で赤潮が発生し、ハマチ、マダイが大量へい死した。また、昭和62年には引本湾で冬季に赤潮が発生し、マハタ、ハマチ、マダイ、マアジがへい死した。平成11年には尾鷲湾でマダイ、カンパチ、シマアジがへい死した。

**発生海域**：熊野灘沿岸

**発生時期**：5~8月頃および1~2月頃(夏季中心)